



目次

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い収支明細について

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

福祉移送特区のNPO有償運送事業検証セミナー STサービス(移動送迎サービス) 構造改革特区の勉強会(東京バゲイヤブ 連絡会)

移送サービス運転協力者講習会インストラクター養成講座参加者募集(東京バゲイヤブ 連絡会)

荒川区基本構想点訳版・音訳版(あふネット)

荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版(あふネット)

船員研修用ビデオ、DVDの販売について((社)日本旅客船協会)

(3) エコモからのお知らせ

セミナー「欧州の交通バリアフリーの動向～より使いやすい交通システムを目指して～」

らくらくおでかけネット“ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅を掲載”

情報誌「旅ぱりっ！」

らくらくおでかけネットの提供“福祉タクシー情報の追加”

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

(4) 行政からのお知らせ

公共交通に関するアンケート調査のお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

(5) 各種催し物のお知らせ

どこへ行く!?移動サービス～移動自由の社会とガイドライン～緊急開催 フォーラム

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

第14回シルバーサービス展

(6) その他

書籍に関して

記事募集中

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い収支明細について

昨年11月に開催しました交通バリアフリー推進の集いの収支明細ができあがりましてので、ご報告いたします。

収入	参加費等収入	120,000
	エコモ負担	1,587,718
	合 計	1,707,718
支出		
	発表者謝礼金・交通費	713,530
	会場費	115,450
	手話通訳・要約筆記	100,480
	資料代	326,820
	交流会	207,880
	雑費	81,954
	案内郵送代	81,390
	ネットワーク幹事会開催経費	80,214
	合 計	1,707,718
	収 支	0

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

FAX : 03-3221-6674 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

福祉移送特区のNPO有償運送事業検証セミナー STサービス(移動送迎サービス)構造改革特区の勉強会(東京レディキャブ連絡会)

私たちは「誰もが自由に移動できる地域社会を」という思いで、障害者・高齢者など移動制約者の皆さんの移動送迎支援活動を、市民参加型のネットワークを組み合わせながら長年、地道に取り組んできました。こうした営みは、「交通バリアフリー法」(2000年公布)の中にも不十分ながら生かされてきており、利用者(当事者)の視点と連携した大切な市民活動の一つになってきております。

すでにご存知のように、厚生労働省による障害者介助支援費制度の導入、新介護保険制度移行などのめまぐるしい動きのなかで、現在、国土交通省は福祉移送特区での「移送ガイドライン」を見直し、全国化に向けた全国共通の「ガイドライン」作りに着手したと伝えられております。

そこで今回、全国で福祉移送特区としてご苦労されておられる5つの当該自治体関係者をお招きして、その実績や抱えておられる課題などをシンポジウム形式でお話しいただき、全国共通の「ガイドライン」の動きのなかでの私たちの移動送迎支援活動の位置を、それぞれ検証するためのセミナーを企画しました。

日頃、移動送迎支援活動に取り組んでおられる団体様のそれぞれの思いを大切にしながら、今後もさらに発展させていくためのセミナーとして、共に考えてまいりたいと思います。多くの皆さんの、ご参加をお待ちいたしております。

日 時 2月1日(日)10:30~16:30

会 場 大阪市立総合生涯学習センター 大阪府大阪市北区梅田1-2-500大阪駅前第2ビル5F
JR大阪駅、地下鉄御堂筋線梅田駅、四ツ橋線西梅田駅、阪神電鉄梅田駅下車

内 容 報告「関西地域の移動送迎支援活動と関西STS連絡会の役割」

(大阪、京都、神戸、尼崎、関西STS連絡会)

シンポジウム「全国における福祉移送特区の取り組み」

1. 問題提起「移動送迎サービスの現状と課題」三星昭宏氏(近畿大学理工学部社会環境工学科教授)

2. パネルディスカッション「福祉移送特区における実践報告」

パネリスト 政村敏彦氏(大阪府枚方市福祉事務所障害福祉室課長)

坂井容子氏(岡山県保健福祉部障害福祉課主査)

星場真人氏(徳島県上勝町づくり推進課課長)

遠山新也氏(熊本県下益城郡砥用町社会福祉協議会事務局長)

河崎民子氏(神奈川県大和市ワーカーズ・コレクティブケアびーくる代表)

コーディネーター 秋山哲男氏(東京都立大学大学院都市科学研究科教授)

参加費 2,000円(資料代)

申込み・問合せ 関西STS連絡会 〒556-0012大阪市浪速区敷津東3-6-10NPO法人日常生活支援ネットワーク内
TEL & FAX 06-4396-9189 E-mail k-sts@e-sora.net

移送サービス運転協力者講習会インストラクター養成講座参加者募集(東京ハンディキャブ連絡会)

移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会が実施する、移送サービス運転協力者講習会インストラクター養成講座の第3回目が実施されます。この講座の参加者は、各地域ネットワーク団体から2名程度を推薦することになってはいますが、当連絡会では、希望者を公募し、役員による審査の上、推薦いたします。

日程 2月7日(土)～8日(日)会場 青森市社会福祉協議会会議室 宿泊 アップルパレス青森
合宿形式で実施します。日帰り参加はできません。

条件 このインストラクター講座は、全国で活動している移送サービス団体が、運転協力者講習会を実施する際のインストラクターを養成するための講座です。ここで養成したインストラクターは各地域ネットワーク団体に登録し、それぞれが開催する講習会で講義をしていただきますが、必要に応じて他地域へ出向いて、講習をしていただくこともあります。

1. 移送サービス活動に5年以上の経験があること。各ネットワークがこれと同等の技量、知識があると保障する場合はこの限りではありません。
2. 他人に教えることが向いていること。
3. 受講後1年に1回以上、インストラクターとして協力していただけること。
4. 他地域へ出張して教えることができること。
5. その他

- ・会場までの交通費(往復)は連合会で補助いたします。ただし、上記参加条件が満たされていないと判断した場合は、後日返金していただきます。
- ・受講された方には受講終了証を発行いたします。
- ・当連絡会から参加される方は、原則として、所属する各個別団体から推薦を受け、参加費16,000円(テキスト代、宿泊費、食事代込)を自己負担していただきます。

締切 1月30日(金)

申込み・問合せ先 東京ハンディキャブ連絡会 〒162-0828 新宿区袋町24 岡田ビル2F
TEL & FAX 03-5261-8970 E-mail : office@tokyo-handicab.net

荒川区基本構想点訳版、音訳版(あふネット)

全国で取り組みが進んでいる交通バリアフリー法に基づく基本構想策定において、東京都荒川区の基本構想が平成14年3月25日に受理されました。その基本構想独自の概要版の点訳版(2冊組)、音訳版を、調査・策定作業に携わったあふネットが作成いたしました。現在、交通エコモ財団にご寄付頂きました資料を貸出ししております。ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX : 03-3221-6674 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp

荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版(あふネット)

昨年度、交通バリアフリー活動に対する助成で作成されました、「荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み」が点訳、音訳されました。点訳版は4冊組、音訳版は10本組となっております。こちらの資料を貸出ししておりますので、ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX : 03-3221-6674 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp

船員研修用ビデオ、DVDの販売について((社)日本旅客船協会)

(社)日本旅客船協会では船員研修用ビデオ、DVDを作成いたしました。今回、特に関係するのは「旅客船の接客サービス」についてです。監修段階では、交通エコロジー・モビリティ財団も参加し、障害のあるお客様の対応についても解説させて頂いております。

ビデオ・DVDタイトル(いずれも乗組員研修用と前に入ります) 全3巻

1. 旅客船の接客サービス、2. 操練の重要性、3. 緊急時の対応

ビデオは各1,700円、DVDは3本を1枚に収録してあり、6,500円となります。なお、送料は別途実費となりますので、ご了承ください。

(3) エコモからのお知らせ

セミナー「欧州の交通バリアフリーの動向～より使いやすい交通システムを目指して～」

交通バリアフリー法が施行されてはや4年目になり、公共交通機関を中心にバリアフリー化の整備が進められています。しかし、まだ検討すべき部分も多く、特に地方においては規制緩和等によるバス路線の廃止など、移動手段確保の問題が顕在化しつつあります。このため、具体的な交通バリアフリーを実現するための新たな発想に基づいた交通システムの開発が必須と言えます。

このセミナーでは、上記の視点から交通バリアフリーの国際的な動向を広く知らせるためにイギリスとイタリアの2名の講師をお招きします。欧州では高齢者・障害者に配慮した標準化が盛んに行われており、中でも交通機関に関する標準づくりのワークショップの議長、並びにEUの先端的交通の実証実験の担当者らの講演はたいへん興味深いものになるはずで、ぜひご参加下さい。

講師

Mrs Margaret Ellis(マーガレット・エリス氏)

Managing Director, West Square Associates. (ウェストスクエアアソシエーツ統括部長)

Chair person, CEN(the European Committee for Standardization)/CENELEC(the European Committee for Electrotechnical Standardization) Workshop on Accessibility in Collective Transport Systems (ACTS) (CEN/CENELEC 集合交通のアクセシビリティ標準化作業部会議長)

テーマ：欧州の交通分野でのアクセシビリティ基準作り (CEN/CENELEC における基準作りの実際)

Mr Giorgio Ambrosino (ジョルジョ・アンブロシーノ氏)

ATAF(Azienda Trasporti Area Fiorentina) (フィレンツェ広域地域交通事業体計画部長)

テーマ：DRT(デマンド型交通)の実践(イタリア・フィレンツェの事例～SAMPO、SAMPLUS、FAMS等EUプロジェクトの取組と成果)

開催日時 2004年2月27日(金)13:10-16:45

場所 オリピック記念青少年総合センター 国際交流棟 第一ミーティング室
小田急線参宮橋駅下車徒歩7分、千代田線代々木公園駅下車徒歩10分

定員 100名(事前申込制。締め切り：2月16日。なお、定員になり次第締め切ります。)

参加費 無料

対象者 交通事業者、行政関係者、研究者、NPO、ボランティア団体 など

言語 日英(逐次通訳) 手話通訳ご希望の方は申込時にお知らせ下さい。

お申し込み、お問い合わせ 交通エコー・ビル財団 バリアフリー推進部 岩佐、沢田(03-3221-6673)

メール又はファクシミリにて、「2月27日セミナー参加希望」と明記のうえ、氏名、所属を書いてお送り下さい。

電子メール d-sawada@ecom.o.r.jp ファクス 03-3221-6674

セミナー次第(予定)

13:10-13:15 開会あいさつ

13:15-13:25 交通バリアフリー法施行4年目を迎えて(国土交通省)

13:25-13:35 第一部 欧州での基準づくりについて(解説)(経済産業省)

13:35-14:45 交通分野でのアクセシビリティ基準作り(エリス氏)

14:45-14:55 質疑応答(第一部)

14:55-15:10 -休憩-

15:10-16:20 第二部 DRT(デマンド型交通)の実践(アンブロシーノ氏)

16:20-16:45 質疑応答(第二部～全体質疑)

16:45 閉会あいさつ

らくらくおでかけネット“ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅を掲載”

ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が、公表されました。JR東日本やJR西日本も含まれています。JR東海とJR北海道は、検討中のままで、民鉄大手の(名鉄)もなぜか検討中です。JR四国とJR九州は、公表。利用駅の条件は、エレベーター設置駅が大半で、直角エレベーターは除かれています。懸念されていたスロープ状で(改札・地上～ホーム)間をアクセスできる駅は、除外している鉄道が大半でした。記載の仕方が、路線上の駅毎配列ではなく、あいうえお順であることや駅数が多い電鉄会社の場合、当該

駅がどこにあるのか、分かりにくい点があります。個々の電鉄各社により、ハンドル式電動車いすの鉄道利用について、どう考えられているのかが、よく分かるとても興味深い資料となっています。ともあれ、関東圏の鉄道事業者の大半が、ハンドル式電動車いす使用障害者の鉄道利用を本日、1月13日(火)から、一定条件下で、認められた、乗車できるようになったことは、高く評価されるでしょう。この日に至るまでの努力をしていただいた関係者に敬意を表します。

情報誌「旅ぱりっ！」

特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが発行する「旅ぱりっ!(創刊号)」をご希望の方にお送りします。伊勢志摩方面のバリアフリーガイドとして、駅、飲食店、宿泊、レジャー情報が満載です。ご希望の方は、下記までご連絡ください。 FAX03-3221-6674 E-mail:k-honda@ecomoo.or.jp

らくらくおでかけネットの提供 ” 福祉タクシー情報の追加 ”

現在、インターネット、携帯端末を通して、高齢者や障害のある方々が最寄りの駅から目的地の駅まで、公共交通機関を円滑に、快適に移動できるよう駅構内のバリアフリー施設、乗り換え案内等のバリアフリー情報を提供していますが、今回、全国福祉タクシー輸送サービス協会の協力を得て、これまでの駅ターミナル情報、乗り換え情報、運行情報等に、新たに福祉タクシー情報を追加しました。

現在、この福祉タクシー情報は、総合版を掲載していますが、今年の9月頃には、個々の駅単位で、最寄りの福祉タクシーが検索できるようになる予定です。

また、このらくらくおでかけネットは、平成14年1月25日より、本格運用しており、平成15年3月31日現在で、鉄道駅3,598駅、空港74、バス153、旅客船437ターミナルの情報を提供しており、14年度の1日平均アクセス件数は、1,707件でしたが、最近1週間のアクセス件数は、3,619件と大きく増加しています。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。

なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomoo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,j-sky) <http://www.ecomoo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) http://www.ecomoo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアル」を公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組みされる時に活用して頂く方法として提供していますので、是非ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

公共交通に関するアンケート調査のお知らせ

国土交通省では、環境にやさしい交通手段である鉄道・バス・路面電車などの利用をさらに増やしていくためにも、利用者の皆様方の不満やニーズなどをより詳しくお伺いしたいと考えております。このアンケートは、平日昼間や買い物、遊びに行くなど、利用の際の不満や、どんなサービスを望まれているのかなどについて伺い、今後の公共交通サービスに活かしていきたいと考えております。

なお、ご意見は統計的に処理し、本調査以外の目的に使用することは一切ございません。実施機関は平成16年1月31日までです。また、お答えくださった皆様のうち、抽選で50名様にクオカード(1,000円分)を差し上げます。ご協力をよろしくお願いいたします。

<http://www.crp.co.jp/enquete/qa2.jsp>

交通バリアフリー法基本構想策定状況(平成15年12月3日まで 受理順に掲載)

基本構想を作成済みの市区町村 98市町村(116基本構想)

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小杉町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市、神奈川県相模原市、滋賀県守山市、大阪府河内長野市、広島県広島市、神奈川県秦野市、福岡県北九州市、大阪府豊中市、長崎県佐世保市、京都府長岡京市、長崎県長崎市、長野県諏訪

市、岐阜県各務原市、岐阜県可児市、神奈川県藤沢市、千葉県柏市、福岡県古賀市、静岡県静岡市、大阪府東大阪市、富山県魚津市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市、兵庫県宝塚市、兵庫県神戸市、東京都羽村市、東京都北区、新潟県新発田市、愛知県春日井市、静岡県焼津市、大阪府柏原市、大阪府大阪狭山市、大阪府茨木市、新潟県長岡市、愛知県名古屋市、大阪府藤井寺市、北海道遠軽町、東京都千代田区、三重県津市、宮城県仙台市、大阪府堺市(2)、鹿児島県鹿児島市、大阪府八尾市(2)、東京都武蔵野市、岐阜県穂積町、埼玉県深谷市、大阪府吹田市、東京都八王子市、大阪府柏原市(2)、北海道札幌市、兵庫県姫路市、山口県菊川町、愛知県岡崎市、福岡県大野城市、大阪府寝屋川市、滋賀県今津町、島根県多岐町、千葉県八千代市、滋賀県大津市、岐阜県岐阜市、香川県高松市、大阪府大阪市、大阪府泉南市、高知県高知市、新潟県新潟市、埼玉県東松山市、愛媛県松山市、滋賀県彦根市、山形県南陽市、岩手県盛岡市、広島県東広島市、茨城県取手市、広島県三原市、北海道北見市、福島県会津若松市、大阪府高槻市、滋賀県米原町、京都府福知山市、神奈川県津久井郡藤野町、神奈川県小田原市、新潟県糸魚川市、兵庫県西宮市、青森県青森市、神奈川県厚木市、茨城県日立市、神奈川県鎌倉市、京都府京都市、福島県いわき市、千葉県市川市、岡山県笠岡市、兵庫県加古川市、栃木県宇都宮市、東京都三鷹市、福井県福井市、大阪府豊中市、長野県塩尻市

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha03/01/010908_.html

(5) 各種催し物のお知らせ

どこへ行く!?移動サービス～移動自由の社会とガイドライン～緊急開催 フォーラム

日 程：平成16年1月23日(金) 14:00～17:00

場 所：女性と仕事の未来館ホール(東京都港区芝5-35-3 JR山手線田町駅西口下車徒歩3分)

参加費：会員1,000円、非会員1,500円

定 員：200名(定員になり次第締切)

内 容：現状の説明と経過報告 牧野史子氏(全国移動ネット理事)

基調講演「移動自由の社会づくりへの課題と展望」秋山哲男氏(東京都立大学大学院都市科学研究科教授)

パネリスト 渡部勝氏(全国移動ネット理事) 阿部司氏(東京ハンディキャップ連絡会代表)

黒田司郎氏(全国介護移送協会会長) 河崎民子氏(かながわ福祉移動サービスネットワーク副代表)

助言者 秋山哲男氏

進 行 田中尚輝氏(特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会事務局長)

お問合せ：移動サービス市民活動全国ネットワーク(全国移動ネット)

〒106-0032 港区六本木4-7-1 みなとNPOハウス3F 特定非営利活動法人福祉交通支援センター

tel・fax：03-5414-0822(月～金9:30～17:30)

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

日 程：平成16年5月23日(日)～26日(水)

場 所：浜松市 アクトシティ浜松(JR浜松駅より徒歩3分)

主 催：(社)土木学会、TRANSED 2004 実行委員会 <http://tranned.jp/>

共 催：Transportation Research Board, USA

後 援：国土交通省、静岡県、浜松市、DPI日本会議、日本盲人会連合、日本建築学会、

日本福祉のまちづくり学会、(財)国土技術研究センター、交通エコロジー・モビリティ財団他

お問い合わせ先：〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7 秀和紀尾井町 TBR ビル 808

交通エコロジー・モビリティ財団内事務局

tel:03-3221-6673 fax:03-3221-6674 E-Mail: info@tranned.jp、d-sawada@ecomio.or.jp

現在、展示会場への参加を募集しています。

第14回シルバーサービス展

日 程：平成16年3月11日(木)～13日(土)

場 所：池袋サンシャインシティ文化会館(B・C・Dホール)

主 催：社団法人シルバーサービス振興会

参加費：無料

(6) その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

http://www.ecomo.or.jp/barier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

コラムに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンを発刊してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

コラム

2004年の文字が東京タワーに掲げられ、年のはじめを祝っていますが、来年は交通バリアフリー法が施行されて5年目になります。法の見直しするときでもあります。

法の付帯決議で規定されたことがらなどが審議され、新たな方向性が打ち出されるのではないのでしょうか。ところで、法施行後、交通のバリアフリー化は進んだだろうか?その答えはイエスです。法の影響力はすごいものがありました。あらゆるところで段差解消工事が行われ、快適な移動が進んでいることは、東京近辺に住んでる方はお気づきのはずです。(地方の都市部も同じ。)

また、最近、アメリカの「ディスアビリティ法」、ISOの「ガイド71」をうけて、いろんな分野で高齢者、障害者等に配慮した標準化づくりが活発化していますので、ますますバリアフリー化は加速することが予測されています。

今年の干支は申年です。「見ざる」、「聞かざる」、「言わざる」は昔のこと、これからは「見て」、「聞いて」、「言って実行する」年にしたいものです。

そのためにも、エコモは皆さんとネットワークを組んで、世の中のニーズを的確に捉え、ポイントをはずさないよう頑張っていく所存ですので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

毎回メールマガジンをお読み頂きましてありがとうございます。毎回掲載しているコラムですが、来月よりメールマガジンをお読み頂いている皆様にもご協力頂こうと考えています。現在活動されている内容や宣伝等々、ざっくばらんにこのメールマガジンをお読みの皆様へのメッセージとしてお伝えしたいことをお書きください。是非お書き下される方はご一報ください。また、こちらよりお願いすることがあると思いますが、是非ご協力ください。よろしく申し上げます。